公共施設情報だより

令和８年 11 月発行
高山市総務部行政経営課
第 15 号

本号では、保育園について解説していきます。令和８年４月１日時点では８施設あります。

大分類：（５）こども家庭支援系施設　小分類：①保育園

施設名	施設のあり方		施設の整備等	
	方針	時期	方針	時期
岡本保育園	継続	―	更新等	―
高根保育園	廃止	R3	解体	R4
城山保育園	譲渡（譲渡先がない場合は、引き続き行政による管理運営）	長期	―	―
山王保育園				
荘川保育園				
久々野保育園				
朝日保育園				
本郷保育園				
栃尾保育園				

短期：R2～R6（2020～2024）、中期（前半）：R7～R11（2025～2029）、中期（後半）：R12～R16（2030～2034）、長期：R17～R31（2035～2049）

●保育園の管理・運営に関する基本的な方針は下記のとおりです。

基本的な方針

＜民間活力導入の実施方針＞

・拠点となる保育園以外は、保育施設に関する民間の取り組みを踏まえ、民間での管理、運営が可能な施設については、民間への譲渡をすすめる

＜統廃合、複合化、多機能化の実施方針＞

・就学前児童の減少見込みを踏まえて必要な規模を見極め、他のこども家庭支援系施設や学校施設との複合化を検討する

※令和７年に開校した市内初となる義務教育学校「荘川さくら学園」に荘川保育園を併設しました。

保育園の将来負担経費（単位：百万円）

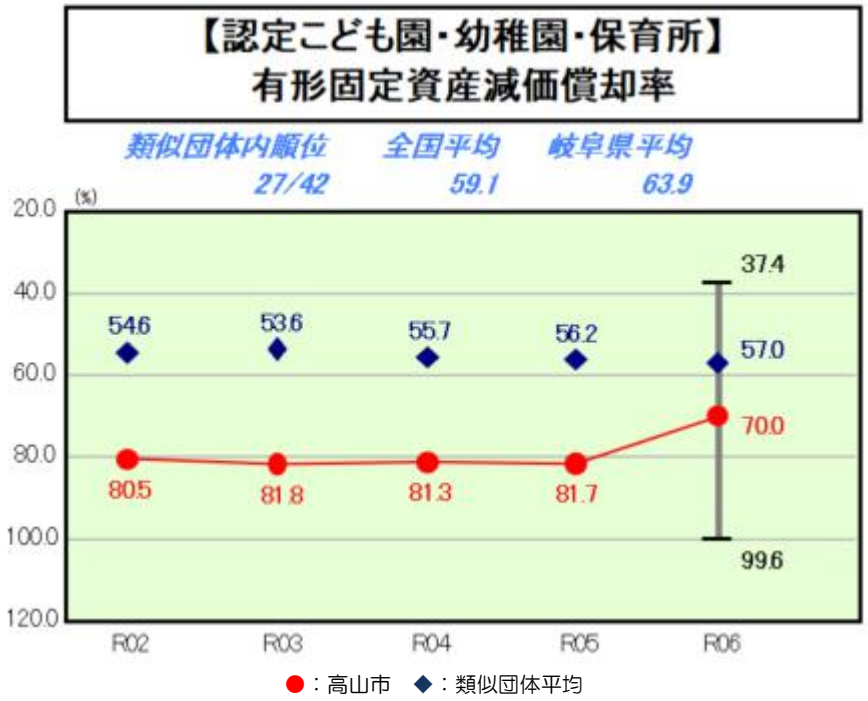


現状のまま更新等を続けた場合、令和２年から令和 31 年までの 30 年間で約 33 億円かかる見込みですが、上記方針に基づく取り組みにより約 14.2 億円（約△18.8 億円、約△57%）となる予定です。

（単位：百万円）

	短期	中期	長期	計
現状	464	1,030	1,808	3,302
取組後	514	383	524	1,421
増減	50	△647	△1,284	△1,881

●財政状況資料集（施設類型別ストック情報分析表）からみる保育園の現状



令和６年度財政状況資料集（施設類型別ストック情報分析表）をみると、市が保有する保育園の減価償却率は70.0%（全国平均比+10.9%）となっており、<u>他市と比べ施設の老朽化が進んでいる</u>ことが分かります。（市立保育所における数値）

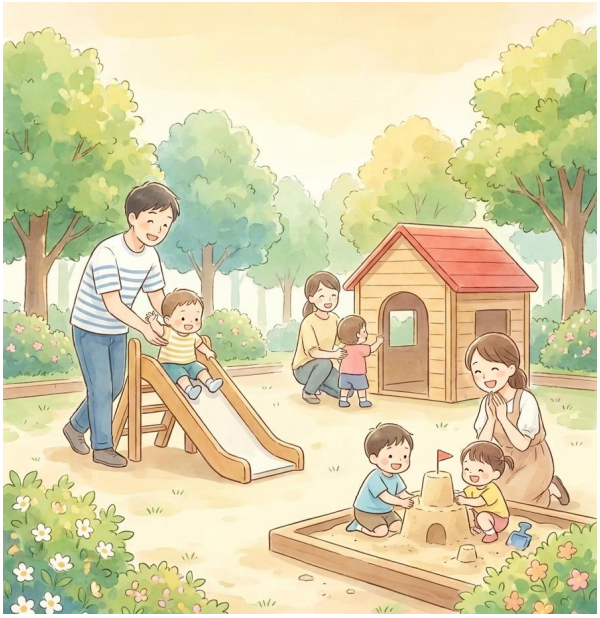
●こども広場（園庭開放）

市では、保育園の園庭を、休園日に「こども広場」として開放しています。昭和 54 年に住民サービスの一環として開始したもので、保育園に関しては、保育時間の延伸に従って、開園日の利用はなかなか難しくなっている実情もありますが、休園日は利用可能ですので、身近な遊び場としてぜひご利用ください。

＜利用できる方＞
- 原則として、その地域の幼児及び小学校の低学年（おおむね３年生以下）の児童とその保護者

＜利用できる日時＞
- 保育園で保育を行う日
  ４月～９月：１８時～１９時
  １０月～３月：１７時～１８時

- 保育園で保育を行わない日
  ４月～９月：７時～１９時
  １０月～３月：７時～１８時



施設ごとに利用できる時間等が異なりますので、詳しくは市ホームページをご覧ください。
https://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000019/1000107/1000707.html（市 HP リンク）